



鷹巣ソフトボール少年団と山口水産ジュニアが大会に出場 優勝を目指して

6月26日、鷹巣ソフトボール少年団の選手と県内のソフトボールチーム、山口水産ジュニアに所属する鷹巣中学校の選手らが、大会へ出場することを川添町長に報告しました。

少年団は、約130チームが参加した県予選で5位に入賞し「第27回西日本ソフトボール大会（高知県・8月2日～4日）」に、中学生は、6月2日に福岡県で行われたクラブ選手権の予選を勝ち抜き「第25回全日本中学生男子大会（福岡県・同日）」に出場します。

小学生を代表して、樋渡駿太さん（鷹巣小6年）が、中学生を代表して濱島海司さん（鷹巣中3年）が、「優勝を目指してがんばります」と川添町長に力強く宣誓しました。

川添町長は「両チームとも予選で優秀な成績を残して素晴らしい。さらにがんばって次の大会で力を発揮することを期待する。スポーツを通じて健全な心身を鍛えて欲しい」と激励しました。

濱島さんは「たくさんのかたに声援や協力、支援をいただいて、両チーム一同感謝しています。当日は、皆さんの応援を力に変えて、全力で頑張りたい」と大会に出場する思いを述べました。



蔵之元小学校「花の宅配便」 地域の高齢者と仲良く

6月30日、蔵之元小学校（中村勲校長・39人）で、児童が育てた花ばなを学校近くの高齢者に配る花の宅配便が行われました。これは、花や緑とふれあうことで、命の大切さを学ぶと共に、地域の高齢者とのつながりを作り、広げることを目的に同校で、毎年2回開催しています。この日は、全校児童で手分けして、35人の高齢者に宅配しました。花を手渡した二階堂愛莉さん（6年・写真左）は「地域の行事などで花を配った高齢者に会うことがある。つながりができて良い機会になる」と話しました。



「商工会の日」・「青年部」絆・感謝運動」軽トラ市と同時開催 詐欺に遭わないよう心掛けて

6月15日、軽トラ市開催時に長島町商工会理事・青年部を中心に、特殊詐欺やSNS詐欺など撲滅の啓蒙活動を実施し、来場者にポケットティッシュとチラシ、紅白餅を配布しました。

活動を通じて詐欺に対する警戒心を高め、防犯意識を向上させることを目的としています。

木場盛二商工会長は「近年、このような詐欺が横行している。町民の皆さんも詐欺に遭わないように心掛けてほしい」と話しました。